

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年3月10日（火）

2 確認箇所

- ・モニタリングポスト(No. 5～7)
- ・大型機器点検建屋近傍

3 確認項目

- (1) 敷地境界モニタリングポストの周囲の状況
- (2) 大型機器点検建屋近傍の資材倉庫内からの油漏れの状況

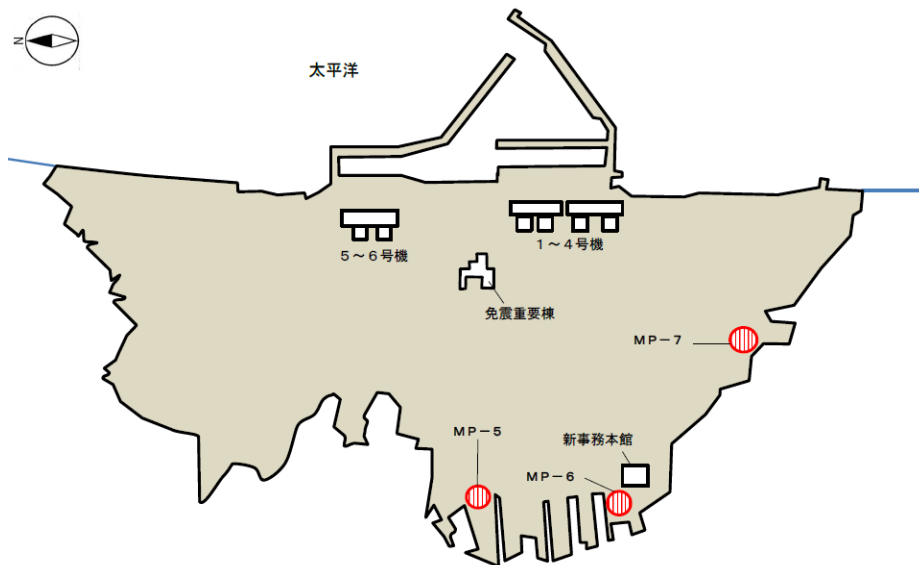
4 確認結果の概要

- (1) 敷地境界モニタリングポストの周囲の状況について

前回（令和2年2月17日）に引き続き、敷地境界付近に設置されているモニタリングポストの周囲の状況を確認した。本日は、モニタリングポスト(No. 5～7)付近の状況を確認した。（図1）

- ・モニタリングポストNo. 5～No. 7はいずれも周辺監視区域外に設置されていた。
- ・モニタリングポストNo. 5の北側には森林が隣接していた。（写真1－1）
- ・また、道路を挟んだ南側には放射性物質分析・研究施設の施設管理棟が運用開始されており、数十メートル離れた東側では同施設の第1棟が建設工事中であった。（写真1－2）
- ・モニタリングポストNo. 6の線量率測定器は鉄の遮蔽壁*が取り外されており、支柱が取り残されていた。また、周囲は砂利が敷かれていた。（写真2）
- ・モニタリングポストNo. 7の西側には道路が隣接しており、周囲はコンクリート舗装されていた。（写真3－1）
- ・また、モニタリングポストNo. 7の線量率測定器は鉄の遮蔽壁で囲われていた。（写真3－2、3－3）

※ 事故により放出された放射性物質の影響により、モニタリングポスト周辺の空間線量率が高い状況にあることから、早期にプラントからの新たな放射性物質の放出を検知できることを目的に平成24年4月にNo. 6、7、8に設置された。No. 6は表土除去等により周辺の線量低減が進んだことから平成25年7月に遮蔽壁が取り外されている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
モニタリングポストNo. 5
(南東側から撮影)



(写真1-2)
モニタリングポストNo. 5周囲の状況
(西側から撮影)



(写真2)
モニタリングポストNo. 6
(南西側から撮影)



(写真3-1)
モニタリングポストNo. 7
(東側から撮影)



(写真3-2)
線量率測定器周囲の遮蔽壁設置状況
(北側から撮影)



(写真3-3)
遮蔽壁内の状況

- (2) 大型機器点検建屋近傍の資材倉庫内からの油漏れの状況について
本日11時10分頃、大型機器点検建屋近傍の資材倉庫内から油漏れが発生したとのことであったため、現場確認を行った。
- ・資材倉庫内には空のドラム缶が横置きになっていた。また、いくつかの資材が保管されていた。(写真4、5)
 - ・資材倉庫周辺の雨水に若干の油膜が発生していた。(写真6)

- 雨水は勾配により近傍の側溝に流れ、その先の集水ピットまで流れるようになっていた。なお、集水ピット内の水はポンプアップして近傍の側溝へ排水しているが、現場確認時にはポンプが停止していた。（写真7）
- 東京電力によると、油漏れの原因は、空ドラム缶や床面等の表面に付着していた油が資材倉庫天井部より浸入した雨水とともに、資材倉庫外へ流出したと推定しており、応急対策として屋根の養生シートの手直しを実施するとのことである。



(写真4)
資材倉庫の外観



(写真5)
資材倉庫内部の状況



(写真6)
油膜の状況



(写真7)
集水ピット周辺の状況（資材倉庫の
下流側）
当該箇所では油膜は見られなかった

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。